

受領 令和3年11月24日 11時42分

通告番号 (15) 1/2

令和3年11月24日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
當間 良史 印

一般質問通告書

第510回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 小笠原諸島近海の海底噴火による軽石が本村にも大きな被害をもたらそうとしている</p> <p>(1) 本村における軽石の漂流状況は。</p> <p>(2) 漂流している軽石の除去を同考えているか。</p> <p>(3) 軽石漂流による観光産業への影響への対応は。</p> <p>(4) 漁業およびマリン事業者への影響と対策は。</p>	
<p>2 運行が開始されてから12年を迎える鳳バスの今後を問う</p> <p>(1) 鳳バスは交通空白地帯における村民の交通手段を確保する事を目的と認識しているが。</p> <p>(2) その場合採算性を考慮せずに運行されると考えるが。</p> <p>(3) 既存の路線バスとの乗り継ぎの考えは。</p> <p>(4) 既存の路線との連動が出来ないのであれば村独自での運営を行う考えは。</p>	
<p>3 本村にスポーツや農業に特化した大学を誘致しては</p> <p>現在多くの子どもたちが日々スポーツに汗を流し頑張っています。その中で今回、読谷高校ラグビー部が第101回全国高校ラグビー大会通称花園へ初出場することになっております。また村内小学生のラグビースクール合同チームがトライカップ大分において3戦全勝で県勢初の決勝トーナメントに出場するなど輝かしい成</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>績を残しています。その中においてスポーツに特化した大学の無い県内のスポーツをする子供たちの進路は厳しい状況にあります。また村内の農家の担い手育成のためにもスポーツ及び農家に特化した大学の誘致を考えてはどうか。</p>	